

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 火3 / 火4	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	中国語Ⅲ ChineseⅢ		
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) 火3: 2 T二、火4: 2 T四	科目分類 外国語科目(中国語)		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 陳 振華 / Eメールアドレス: chzh@hotmail.com / 研究室: 非常勤講師控室 / オフィスアワー: 16:00~18:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 中国語の単語や文法などを更に習得し、中国語の日常生活の会話をやや流暢に出来るレベルに達し、やや難しい中国語文が読め、中国の文化を理解できる。  授業方法: テキストでは新出単語と補充語句の日本語の解釈が印刷されていないので、授業前に学生は皆必ず辞書を引かなければならない、日本語の解釈を調べるほか、またその単語と語句を暗記し、また文法と本文も予習する必要がある。語学の勉強には文法を理解する以外、主に実際のトレーニングをする、従って、この授業は習った語句、文法を活用できるように、その場で中国語を作文させ、本文を繰り返して朗読する上で、本文を暗誦してもらい、習った中国語の語句、文法を用いて、学生に中国語で日常会話をさせる。中国語の語学力を固めるために、時々小テストを行い、宿題もやってもらう。  授業到達目標: この授業を通して、中国語の話す、聞く、書く、読むなどの総合的な中国語の基本語学力を養成し、中国語の中級初段階のレベルに達する。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) テキストは留学先で遭遇しそうな場面を想定した会話文により、編集したもので、この会話文の学習を通して、結果補語と可能補語の構造、使い方を学び、助動詞及び文法的な働きがある副詞などの意味、使い方を勉強し、更に習ったものを活用して学生に中国語の会話を練習させる。  第1回 第一課 挨拶 ポイント: 動詞の重ね型、方位詞、“……极了”、動作の相手と対象を示す“跟……” 第2回 第一課 挨拶 本文、練習コーナー 第3回 第二課 自己紹介 ポイント: 積極的に行為に取り組むことを表す“来”、“好像”、条件を表す“就”、出所を表す“从” 第4回 第二課 自己紹介 本文、練習コーナー 第5回 第三課 訛りについて ポイント: “听说……”、結果補語、“一点儿都……”、可能補語“……得出/……不出”、 第6回 第三課 訛りについて 本文、練習コーナー 第7回 復習 第8回 第四課 本を買う ポイント: 動作の進行を表す“正在……”、目的を表す“为”、“干吗”、“趁” 第9回 第四課 本文、練習コーナー 第10回 第五課 天気について ポイント: “说+動詞、就+動詞”、確認を表す“是不是……”、“没有……那么”、助動詞の“会”、 第11回 第五課 天気について 本文、練習コーナー 第12回 第六課 喫茶店にて ポイント: “觉得”、“在……方面”、助動詞の“肯”、“又……又……” 第13回 第六課 喫茶店にて 本文、練習コーナー 第14回 復習 第15回 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	『中国語へのアプローチⅡ』初級～中級編 楊凱榮 張麗群著 (朝日出版社)		
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況と平素の学習態度 25%、宿題と小テスト 25%、定期試験 50%		
受講要件(履修条件)	履修上の注意: 単位が成立されるのは定期試験、宿題と小テストの成績の次第だけではない、出席も見るので、無断欠席しないでください。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			